

クラシック・ライター 片桐卓也さん

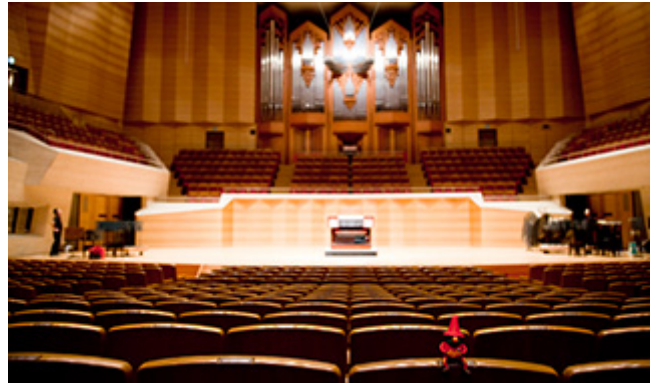


「東京交響楽団&サントリーホール『こども定期演奏会』」

このコンサートは「こども定期演奏会」と名付けられていますが、お子さんと一緒に行ったお父さん・お母さんはもちろん、実は大人だけでも楽しめるコンサートです。

今回のテーマは「大地のリズム」。

取り上げられるのはヨハン・シュトラウス2世のポルカ《観光列車》や、ドヴォルザークの《新世界より》第4楽章などですが、このクラシックの名曲の中にどんな大地のリズムが潜んでいるのか、それを発見できるコンサートでもあります。



サントリーホール

ぜひ生で聴いて新しい発見をしてみてください。

今年で15周年目となる「東京交響楽団&サントリーホール『こども定期演奏会』」は、アークヒルズの「サントリーホール」にて上演されます。

(2016.03.30)

大人も楽しめる、解説付きのコンサート

「こども定期演奏会」は東京交響楽団とサントリーホールが行っている、こどものためのコンサート。2002年から始まって、2016年シーズンで15周年を迎える人気シリーズです。

今年4月9日、7月9日、9月10日、12月17日の4回にわたって開催され、それぞれ「火・風・水・土」の四元素にちなんだ曲を取り上げる予定です。その最初となる4月9日は「大地のリズム」をテーマに、ドヴォルザークの交響曲第9番《新世界より》第4楽章や、久石譲の「天空の城ラピュタ」からトランペット協奏曲などを演奏します。

指揮を秋山和慶氏、トランペットを佐藤友紀氏が担当し、司会の坪井直樹氏（テレビ朝日アナウンサー）が指揮者とともにわかりやすい解説を加えてくれます。子供のみならず、大人も楽しめるこのコンサートに一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

開催概要

- 期間：2016年4月9日（土）11:00開演（10:30開場）
- 場所：サントリーホール 大ホール（アークヒルズ）
- 入場料：年間会員券10,000（全席指定・4公演分）
1回券3,000

※小学1年生からご入場いただけます。

※年齢にかかわらず、チケットはお一人様1枚ご用意ください。

▶ 東京交響楽団&サントリーホール「こども定期演奏会」

プロフィール



フリーの編集者を経て、1990年からクラシック音楽中心のライターとして活動を始め。現在はクラシック音楽専門誌に定期的にインタビュー、批評などを執筆。その他、クラシック音楽の講座、コンサートのプレトークを担当することもある。ミュンヘン国際音楽コンクールなど、世界的なコンクールの現地取材も経験。最も関心のあるジャンルは17～18世紀のオペラで、その上演を観るために、海外へ出かけている。